ヤマト・インダストリー株式会社

2022年3月期 第2四半期決算説明会

2021年12月17日

当社グループの概要

会社概要

ヤマト・インダストリー株式会社 (英語表記 YAMATO INDUSTRY Co., LTD.)

創業 1937年(昭和12年)2月11日

資本金 927,623,772円

▶ 上場市場 JASDAQ コード番号7886 (平成7年 店頭登録)

代表者 重岡幹生

▶ 所在地 埼玉県川越市古谷上4274

東京都台東区東上野2-14-1

▶ 従業員数 103名(パート・嘱託含まず)/約1,100名(グループ全体)

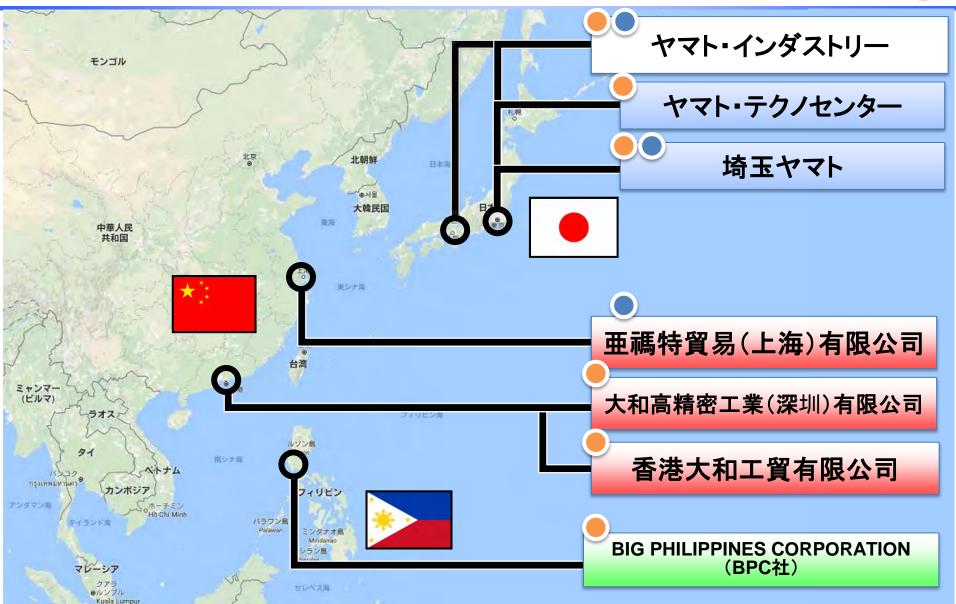
主な事業 合成樹脂事業 87.7%

物流機器事業 12.3%

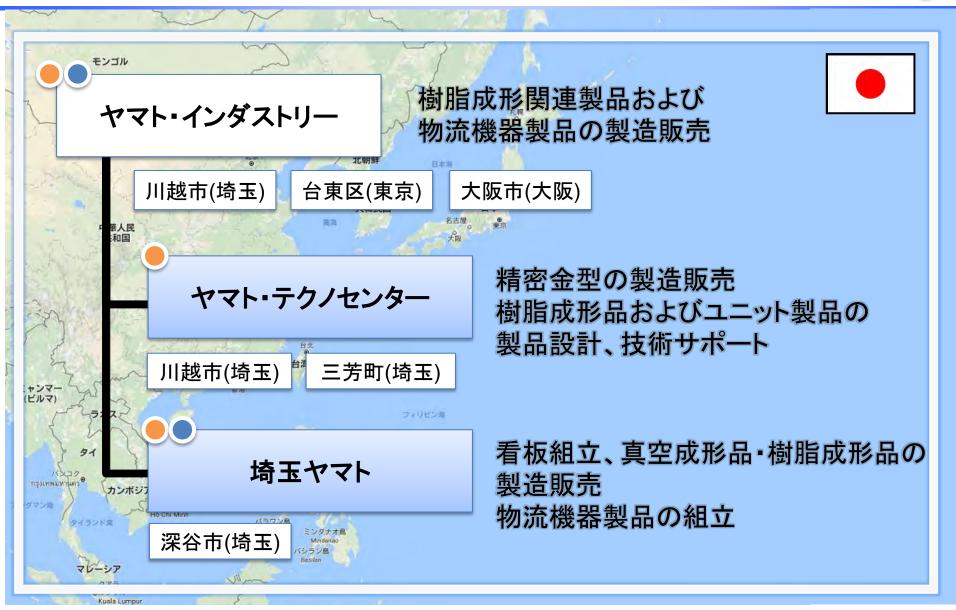
(第2四半期 連結売上高比)

(2021年3月末現在)

















事業紹介

合成樹脂事業

- ▶ 樹脂事業ユニット
- > SP・真空成形事業ユニット

物流機器事業

> 物流機器事業ユニット

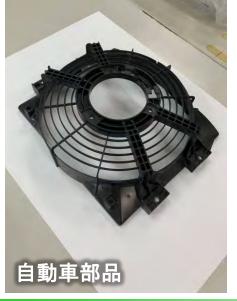
事業紹介-樹脂事業ユニット

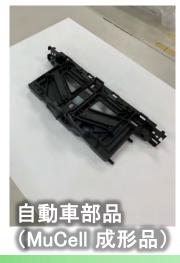
OA機器・家電・住宅設備・自動車関連部品など 多岐にわたるお客様の二一ズにお応えする為、

製販一体を基本に 海外との連携も強化し

お客様に満足戴ける製品や金型の提供と共に MuCell成形やGas成形の製法や素材を提案













住宅設備

事業紹介-樹脂事業ユニット

開発の早期段階で製造要件の注入(コンカレント活動)

- 1) 成形性を考慮した形状設定(抜き勾配他)
- 2) 金型加工性を考慮した形状設定(カッターR、型構造他)
- 3) データの公差センター値化
- ⇒ 開発期間、金型の熟成(玉成)期間の短縮化に

MuCell成形技術

製品の軽量化と内部応力の低減を目指した製法(微細な発泡を作り樹脂の機械的性質の低下を抑える)

⇒ 各種樹脂部品へ展開

事業紹介-物流機器事業ユニット

ロールボックスパレット(カゴ台車)を『コンビテナー』の商標で日本で 最初に製造・販売。50年以上の実績で、搬送・移動・保管・陳列など 多用途に対応する製品を販売























ヤマトの製品は 環境への影響を配慮した軽量で安全な設計も特徴

事業紹介-物流機器事業ユニット



かさ上げH2000 L型ロールコンビテナー



より多くの積荷を積載したい顧客の 要望に応えるために

> 高さ200cmで使用できる 「嵩上げH2000コンビテナー」 競合他社にはないラインナップ

在庫リスクを抑えながら 短納期&低価格を実現

事業紹介-物流機器事業ユニット

荷役負担軽減・衛生環境改善の為

アルミを主材料にした 「アルミ製ロールコンビテナー」

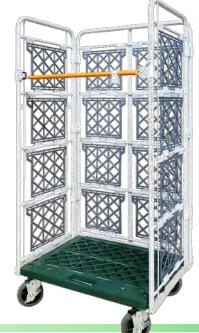
アルミは、従来のスチールと比較して 軽く錆びにくい



夜間・早朝配送に伴う騒音に配慮

床板、格子部・ジョイント部に樹脂パーツを豊富に使用した「静KAGO車」

騒音環境基準値対応品 (夜間45デシベル以下) 他社に無い静かさを実現



看板を中心とした、什器・ディスプレイの企画、設計、製造



特に看板では企画提案から施工まで ワンストップでの製品提供

~お客様の売上増加に対するお手伝い



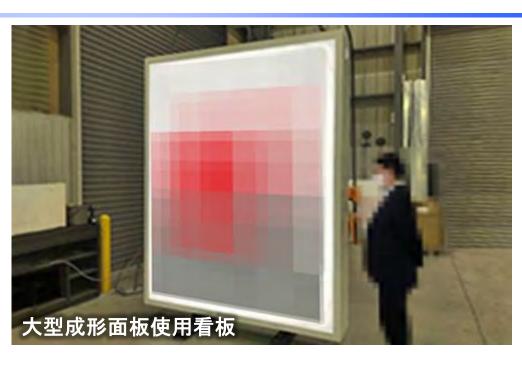
真空成形

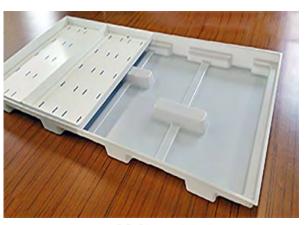
大型の成形看板製作

➤ 3100×2100×300mmの 大型成形機を所有

産業資材製品





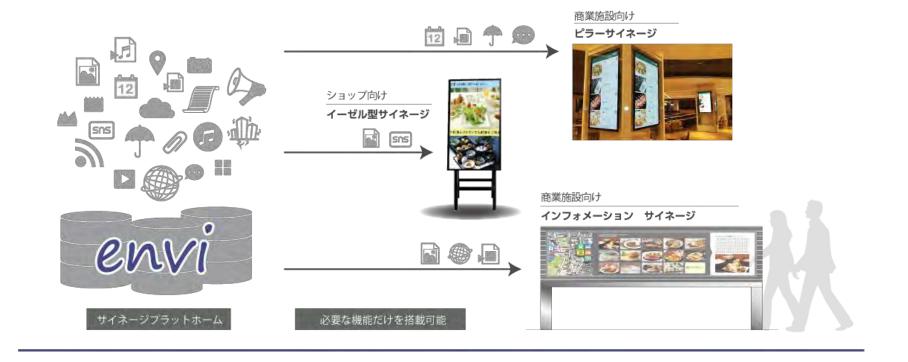


植物工場向けトレー

SPのこれから

成形看板に加え、デジタルサイネージの取り扱い開始

- ▶ 協力会社のクラウドサイネージシステムを利用したコンテンツ作成
- ▶ 筐体、コンテンツ、配信管理をセットに一貫したサービスの提供



真空成形のこれから

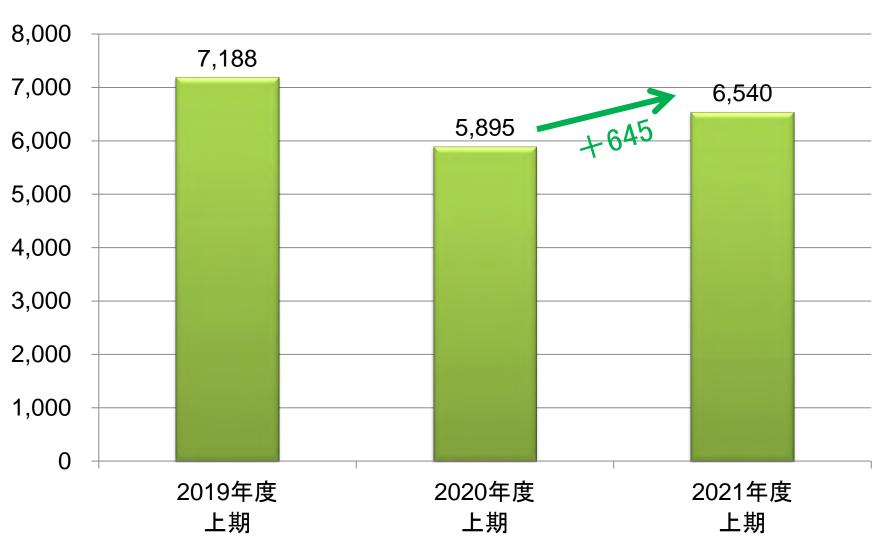
- 看板メインで稼働している大型の真空成形機を活用 した産業資材関連へのビジネス展開
- 薄物の連続成形から大型成形まで、あらゆる真空成 形に関してお客様の二一ズに対応
- 環境に配慮した材料を使用した製品の提案に向け、 材料メーカーとともに成形技術を開発中

2022年3月期 第2四半期 決算概要

売上高推移

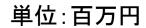
PL第2四半期累計期間

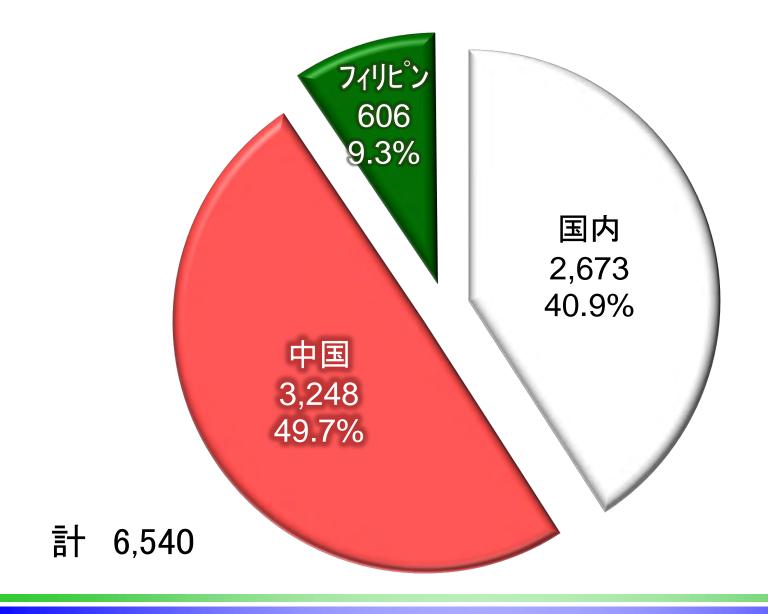
単位:百万円



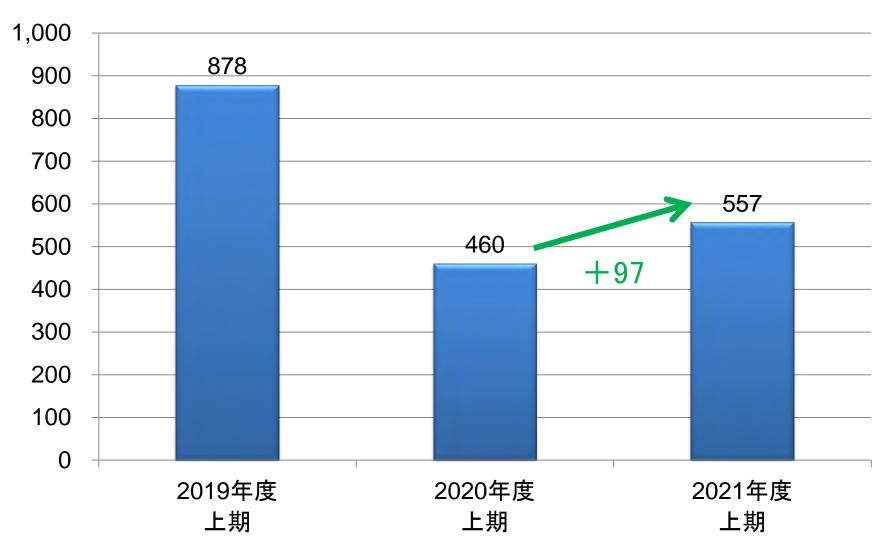
地域別売上比率

PL第2四半期累計期間

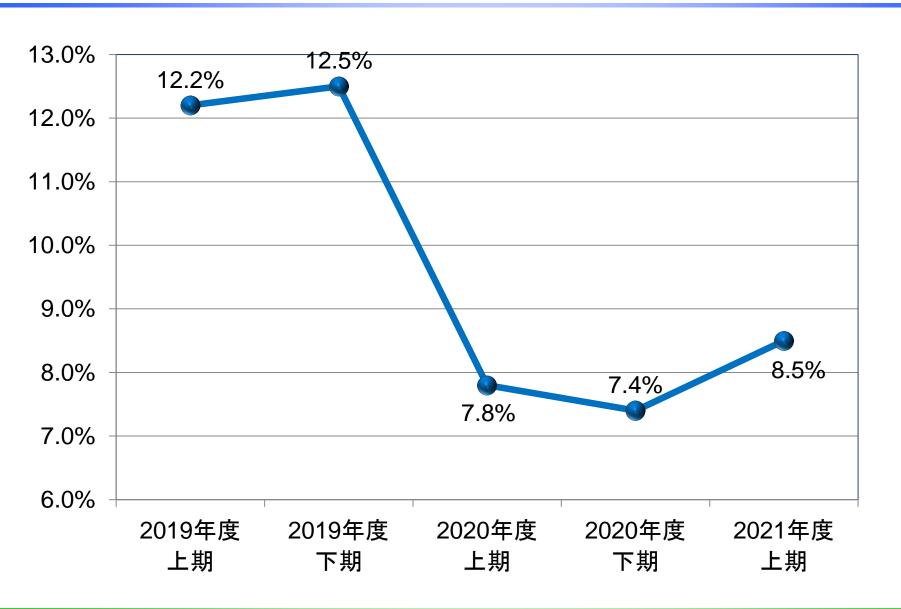




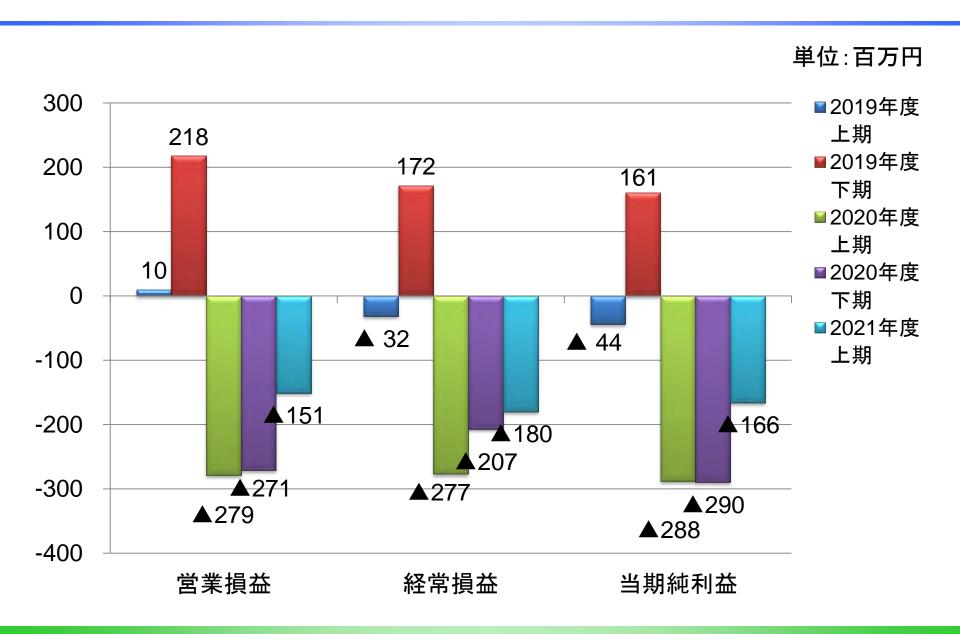
単位:百万円



売上総利益率推移



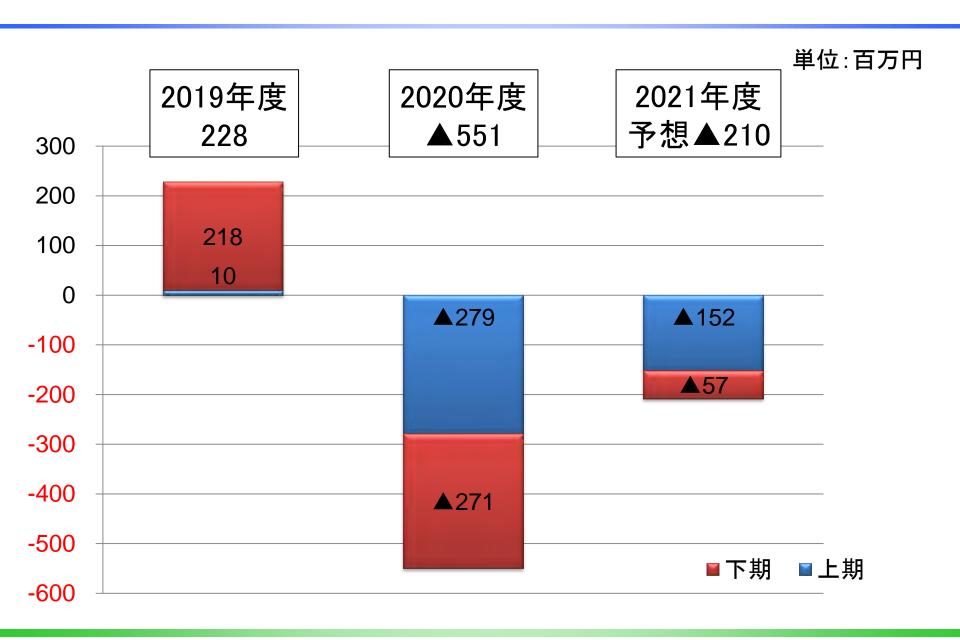
営業損益•経常損益•純損益 推移



売上高推移と予想



通期 営業利益予想(連結)



資産•負債•純資産

BS第2四半期累計期間

自己資本比率 16.2% (前年度期末比 +0.8)

単位:百万円

8,012

8,012

流動資産 6,153

固定資産 1,858 流動負債 3,964

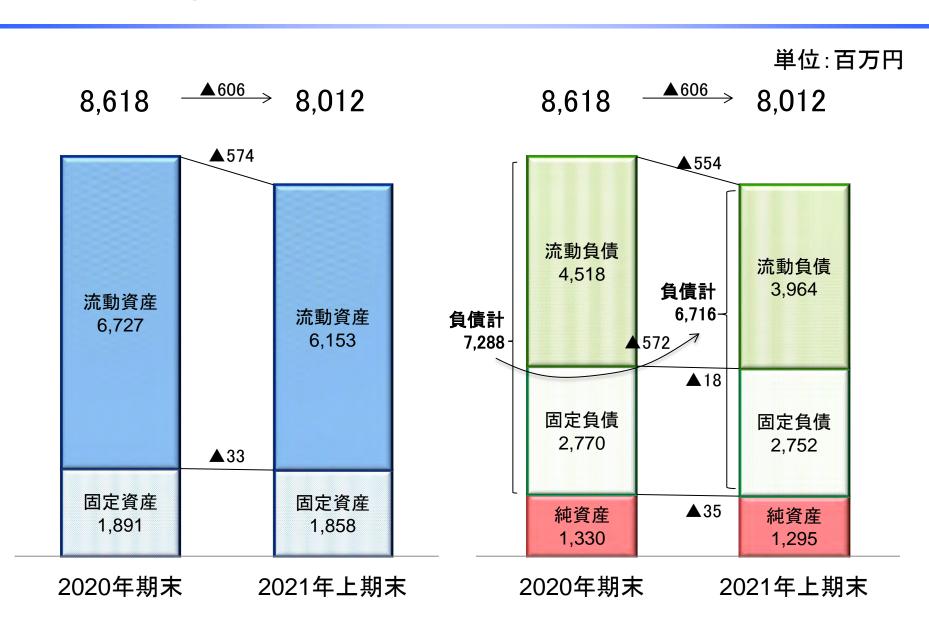
固定負債 2,752

純資産 1,295

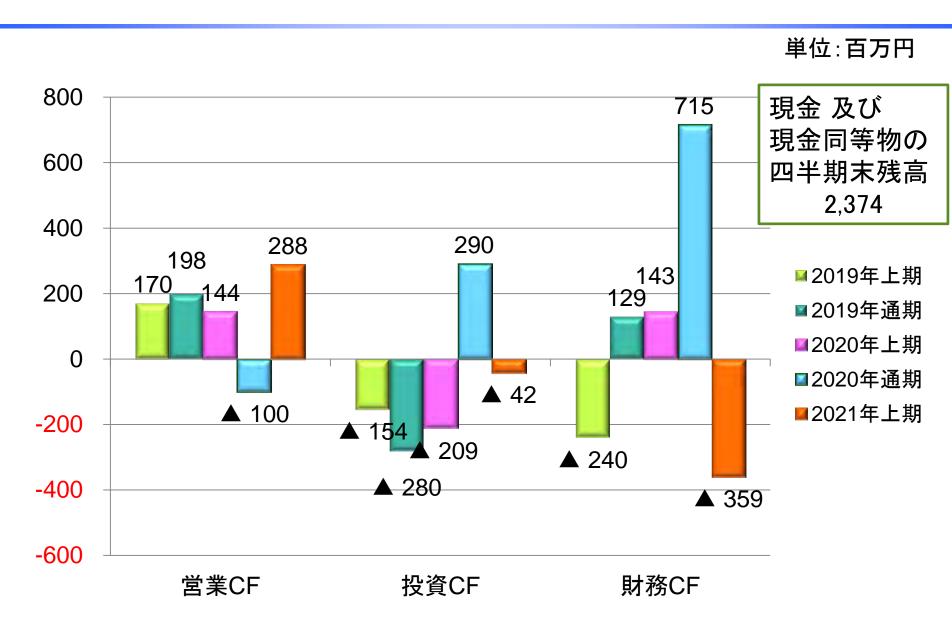
資産

負債十純資産

資産•負債•純資産



キャッシュフローの増減



百年企業に向けて

百年企業に向けて

新型コロナウイルス禍からの回復が遅れた場合の BCP(緊急時事業継続化計画)

人件費・経費を圧縮しつつ収益力を強化し、適切な収益レベルを実現し、持続的かつ健全に成長する会社へと進化する事を目標とした『新々構造改革』を発動

百年企業に向けて

I:構造改革

2009年、コンサルを入れて策案・発動

= 事業本部制への改編、資産売却

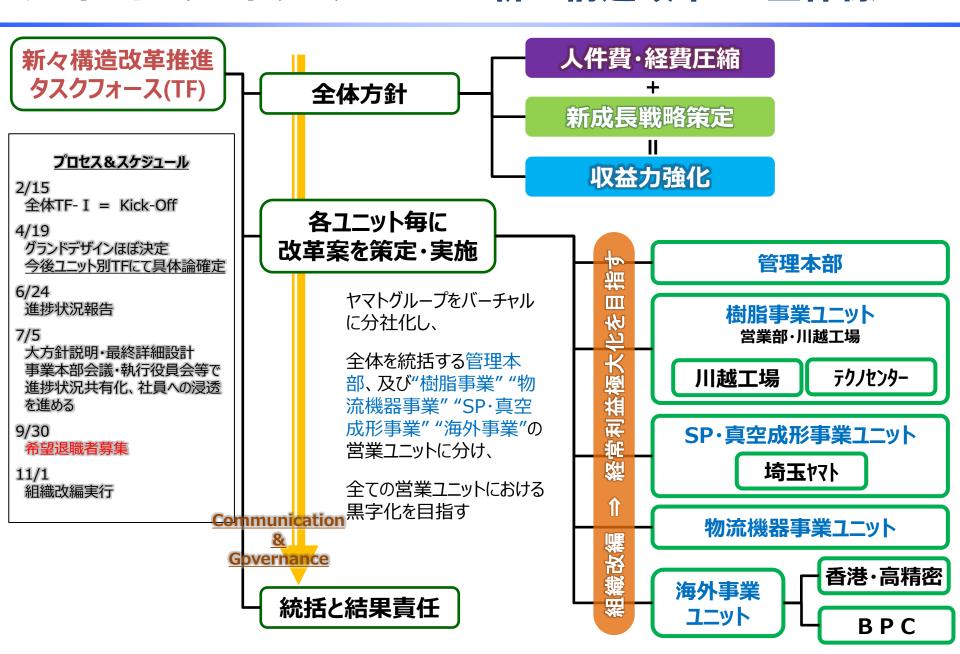
Ⅱ:新構造改革

2019年策案•発動 ⇒ 生産合理化•資産売却

Ⅲ:新々構造改革

現在推進中、2021年早々に開始 2021年11月に組織改編実行

ヤマト・インダストリーグループ "新々構造改革"の全体像



人件費圧縮

希望退職者を募集

(対象) 40歳以上64歳未満の正社員・嘱託社員 計65名 (応募人数) 約10名



応募者9名あり

今期 約20百万円の特別損失計上 今後 年43百万円程度の人件費削減効果

残留を選択した社員

- ▶ 面接を通じて、当社現況を共有
- 新々構造改革への積極的参画し、 多能工化・担当業務への一層の積極的取組みを確認

>> 今後の改革の足場固め

経費圧縮、収益性の改善

樹脂事業ユニット

営業部・川越工場

川越工場

テクノセンター

SP・真空成形事業ユニット

埼玉ヤマト

合成樹脂事業

- ✓ 成形サイクルタイムの短縮
- ✓ 取出工程など製造工程の更なる自動化
- ✓ 多台持ちの推進
- ✓ 金型改善
- ✓ 組立工程の改善
- ✓ 真空成形工程の自動化推進
- ✓ 製品コストの明確な把握
- ✓ 適正価格への価格改定

物流機器事業ユニット

物流機器事業

- ✓ 規格品の原価低減
- ✓ 付加価値の高い新製品の開発・市場投入

海外事業 ユニット BPC

海外事業

- ✓ 各拠点の現状を詳細に分析
- ✓ 適切な収益改善、収益増加策を策案実行

新成長戦略策定

樹脂事業ユニット

営業部・川越工場

川越工場

海外事業

ユニット

テクノセンター

SP・真空成形事業ユニット

埼玉ヤマト

物流機器事業ユニット

香港·高精密

BPC

各ユニットごとに 中長期的視点に立った経費削減と 成長戦略策を根幹とした グランドデザインを作成

グランドデザイン<mark>に</mark>沿って 現業の維持拡大に加え、投資も含めた 積極的な中長期計画を策定・実行

新成長戦略策定

開発部

技術サポート室

・・・営業ユニットの技術サポート

新規事業開発部準備室

・・・グループ全体の新規事業開発

既存顧客

深耕・横展開 ⇒ ユニット毎に 推進

YMT"要素技術"の 活用 マーケット

シーズ掘り起し

新技術・新製品・パテント

新規開発推進

新々構造改革における新成長 戦略のエンジンとして非常に重要 新規顧客

新規商材・ 技術の掘り起し・ "仕組み"作り ⇒ 全社的展開

「販路」設定

- ☆各分野スペシャリストとの協力・協働
- ☆各分野専門知識深化

2021年12月17日

✓ ヤマト・インダストリー株式会社

2022年3月期 第2四半期決算説明会